

青木繁関連記事目次（1981年—1990年）

後藤純子

本目次は、昭和32年から石橋美術館において作成し所蔵している新聞切り抜き帳の中から青木繁に関する記事を採取し、昭和56年1月から平成2年12月までの期間に限って一覧表としたものである。なお、石橋美術館所蔵の新聞切り抜き帳における新聞記事の収集状況と整理法、ならびに坂本繁二郎関連記事目次については『館報』第42号～第44号¹⁾、また昭和32年から昭和55年までの期間の青木繁関連記事目次については『館報』第45号で報告した²⁾。本目次の凡例については『館報』第45号の報告に掲げた凡例2)―4)と同様であるが、今回採取記事に夕刊である記述があったものについてはそれを記した。また、左端の番号は前号から連続しており、とおし番号となっている。

(ごとうじゅんこ 石橋美術館)

註

- 1) 後藤純子、植野健造「石橋美術館所蔵新聞切り抜き帳について 附：坂本繁二郎関連記事目次(1957年－1969年)」『プリヂストン美術館 石橋美術館 館報』第42号、平成6年10月
後藤純子、植野健造「坂本繁二郎関連記事目次(1970年－1980年)」『プリヂストン美術館 石橋美術館 館報』第43号、平成7年12月
後藤純子、植野健造「坂本繁二郎関連記事目次(1981年－1990年)」『プリヂストン美術館 石橋美術館 館報』第44号、平成8年11月
- 2) 後藤純子「青木繁関連記事目次(1957年－1980年)」『プリヂストン美術館 石橋美術館 館報』第45号、平成9年11月

青木繁関連記事目次（1981年－1990年）

	新聞紙名	発行年月日	夕刊 切抜帳	執筆者	見出し
635	西日本	1981年01月09日	1981-2		青木繁の古びた生家 月星化成が保存へ 久留米市 荘島南
636	信濃毎日	1981年02月07日	1981-3	植村鷹千代	この1点 石橋美術館(久留米市) 海の幸 青木繁 詩情豊かに裸の群像
637	朝日	1981年02月25日	1981-2	源弘道	青木繁と坂本繁二郎 生誕百年に寄せて ライバル意識を土台に飛躍 表向きは「親密な間柄」通す
638	西日本	1981年03月21日	1981-3		あす「けしけし祭り」 歌碑前で青木繁をしのぶ
639	朝日	1981年03月22日	1981-2		〈ギャルリ・ユニーク〉 久留米・石橋美術館(久留米市)
640	西日本	1981年03月22日	1981-2	和	〈おじゃましまーす〉 青木繁没後70年 きょう「けしけし祭り」 甦る鬼才のロマン秘話 福田たね、愛の即興画
641	読売	1981年03月23日	夕 1981-3	岸田勉	〈文化〉 青木繁の「呪い」と坂本繁二郎の「涙」 作品に流れる青春の苦悩
642	朝日	1981年03月24日	1981-1		〈むつごろう通信〉 けしけし祭
643	西日本	1981年03月24日	1981-2		〈春秋〉 “けしけし祭り”にからむ1枚の絵『人魚の母子』の秘話が二十二日付本紙で紹介された。…
644	読売	1981年03月24日	1981-1		鬼才・青木繁しのぶ 久留米で「けしけし祭り」
645	西日本	1981年04月19日	1981-3	谷口編集委員	25周年迎えた石橋美術館 きらめく青木、坂本、古賀 九州が生んだ珠玉ずらり 全国屈指のコレクション

646	朝日	1981年05月11日	夕	1981-2	鹿兒島寿藏	歌と人形に生きる 鹿兒島寿藏 (5) 画家 心奪った青木繁の絵
647	朝日	1981年06月14日		1981-1		現代洋画秀作展 〈展覧会告示〉
648	フクニチ	1981年06月14日		1981-1		久留米 現代洋画秀作展 〈展覧会告示〉
649	西日本	1981年06月22日		1981-1		400年の変遷たどる 『西日本画壇史-近代美術への道』谷口鉄雄著 〈書評〉
650	西日本	1981年09月09日		1981-4	橋富博喜	〈石橋美術館だより〉 森三美作品と資料展 (4) 坂本より構図に熟練 青木と同じモデル描く
651	毎日	1981年09月13日		1981-4		森三美作品展始まる 久留米市・石橋美術館 油絵など46点出品 青木, 坂本両画伯 修業時代にも興味
652	読売	1981年09月13日		1981-4		坂本繁二郎・青木繁の先生 森三美の作品展 石橋美術館
653	フクニチ	1981年09月15日		1981-4		近代洋画壇の“師弟”浮き彫り 森の作品36点展示 弟子・青木, 坂本の習作も 石橋美術館
654	読売	1981年09月21日	夕	1981-4		〈手帳〉 繁二郎らに絵の手ほどき 森三美の作品, 資料展開く 石橋美術館
655	朝日	1981年09月25日		1981-4		故青木繁画伯 生前しのび歌碑完成 筑後市の筑後工芸館前に
656	朝日	1981年09月26日	夕	1981-4	源	〈美術〉 森三美・作品と資料展 坂本繁二郎・青木繁に手ほどき 似ている師弟の絵
657	西日本	1981年10月12日	夕	1981-5	谷口	〈文化〉 筑後美術の源流 青木, 坂本とも比較展示 森三美-作品と資料展
658	朝日	1981年12月11日	夕	1981-6		絵筆とともに演じる 米倉齊加年 (21) 追体験 青木繁…そして夢二
659	読売	1982年01月05日		1981-6		青木と坂本生誕100年 天才と哲人の足跡たどる (1) 自らの運命暗示 青木繁「自画像」 明治36年作
660	読売	1982年01月06日		1982-1		青木と坂本生誕100年 天才と哲人の足跡たどる (2) 青木繁《黄泉比良坂》 極貧の中で創作
661	読売	1982年01月07日		1982-1		青木と坂本生誕100年 天才と哲人の足跡たどる (3) 青木繁《海の幸》 近代美術史上に残る決定作
662	読売	1982年01月08日		1982-1		青木と坂本生誕100年 天才と哲人の足跡たどる (4) 青木繁《女の顔》 恋人をモデルに
663	読売	1982年01月09日		1982-1		青木と坂本生誕100年 天才と哲人の足跡たどる (5) 青木繁《大穴牟知命》 夢の世界に異才
664	読売	1982年01月12日		1982-1		青木と坂本生誕100年 天才と哲人の足跡たどる (6) 青木繁《わだつみのいるこの宮》 漱石の小説に登場
665	読売	1982年01月13日		1982-1		青木と坂本生誕100年 天才と哲人の足跡たどる (7) 青木繁《漁夫晚婦》 大作だが低い評価
666	読売	1982年01月14日		1982-1		青木と坂本生誕100年 天才と哲人の足跡たどる (8) 青木繁《月下滞船》 人間性を率直に表現
667	読売	1982年01月15日		1982-1		青木と坂本生誕100年 天才と哲人の足跡たどる (9) 青木繁《二人の少女》 モデルは恩師の娘

668	読売	1982年01月16日	1982-1		青木と坂本生誕100年 天才と哲人の足跡たどる (10) 青木繁《朝日》 絶筆となった作品
669	西日本	1982年03月03日	1982-2	田内正宏	〈石橋美術館だより〉 『近代洋画と久留米』にちなみ 来目会の85点に焦点
670	西日本	1982年03月20日	1982-2		あす“けしけし祭り” 兜山で青木繁をしのび
671	フクニチ	1982年03月21日	1982-2		きょう兜山でけしけし祭り 久留米, 青木繁しのぶ
672	朝日	1982年03月22日	1982-2		生誕100年の青木繁しのぶ 孫ら140人が集う 久留米けしけし祭り
673	西日本	1982年03月22日	1982-2		歌碑にカッポ酒注ぐ けしけし祭り 天才画家・青木繁しのぶ 久留米
674	読売	1982年03月22日	1982-2		青木繁しのびけしけし祭り
675	西日本	1982年03月24日	夕 1982-2		〈展覧会〉 青木繁・坂本繁二郎小品展
676	読売	1982年04月05日	夕 1982-2	健	小品にも二人の資質 青木繁・坂本繁二郎小品展
677	朝日	1982年04月07日	夕 1982-2	源	〈美術〉 大胆さと洗練味同居 地味だが深い内面性 青木繁・坂本繁二郎 福岡で小品展
678	西日本	1982年06月09日	1982-2	杉本秀子	〈石橋美術館だより〉 青木繁《闇威弥尼》 漂う神秘的雰囲気 第一回白馬会の受賞作
679	西日本	1982年07月07日	1982-4	杉本秀子	〈石橋美術館だより〉 青木繁《輪転》 女体の組み合わせの妙 彼が好んだモチーフ
680	読売	1982年08月03日	1982-4		明治の水彩画の妙を紹介 〈書評〉
681	西日本	1982年08月25日	1982-4	杉本秀子	〈石橋美術館だより〉 青木繁《海景(布良の海)》 あふれる若さと躍動感 岩も波も海面も自由なタッチ
682	西日本	1982年09月01日	1982-5	杉本秀子	〈石橋美術館だより〉 青木繁《大穴牟知命》 文学との結びつき 新聞批評も意気込み指摘
683	フクニチ	1982年09月01日	1982-5	柳猛直	町名物語 ルーツ・わが町 (607) 中洲1-5丁目 (13)
684	朝日	1982年09月06日	1982-5		得意の推理に強引さも 松本清張著 私論／青木繁と坂本繁二郎 〈書評〉
685	西日本	1982年09月06日	夕 1982-5	古賀	「私論・青木繁と坂本繁二郎」めぐって 松本清張氏にインタビュー
686	西日本	1982年09月08日	1982-5	杉本秀子	〈石橋美術館だより〉 青木繁《光明皇后》 天平シリーズの一つ 華麗で流れるような画面
687	西日本	1982年09月15日	1982-5	杉本秀子	〈石橋美術館だより〉 青木繁《漁夫晚婦》 疲れた寂しい印象 全作品中でも最大のもの
688	西日本	1982年09月22日	1982-5	杉本秀子	〈石橋美術館だより〉 青木繁《月下滞船図》 後期代表作の一つ しっかりとした味わい
689	西日本	1982年09月27日	1982-5	杉本秀子	〈石橋美術館だより〉 青木繁《春秋》 みごとな装飾 感覚 感興おもむくま筆をとる
690	読売	1982年10月14日	1982-5		青木繁の歌碑建てよう 記録する会が署名集め 八女
691	読売	1983年02月05日	夕 青木展'83		青木・坂本に新説
692	西日本	1983年02月16日	青木展'83	杉本秀子	〈石橋美術館だより〉 青木繁《黄泉比良坂》 第一回白馬会賞受ける
693	読売	1983年02月22日	夕 青木展'83	健	美を訪ねて (6) 青木繁の「大穴牟知命」 暗い明治の青春の息吹 石橋美術館

694	西日本	1983年02月23日	青木展'83	杉本秀子	〈石橋美術館だより〉 青木繁《享楽》 才能を自由に発揮
695	西日本	1983年02月23日	夕 青木展'83	山本太郎	愛と放浪の軌跡 青木繁展から (1) 《海の幸》 一筆の線の鋭さ
696	西日本	1983年02月24日	夕 青木展'83	松永伍一	愛と放浪の軌跡 青木繁展から (2) 《わだつみのいるこの宮》 神話の素材結晶化
697	西日本	1983年02月25日	夕 青木展'83	坂宗一	愛と放浪の軌跡 青木繁展から (3) 《自画像》 心打つ無言の気迫
698	西日本	1983年02月26日	青木展'83		来月5日から青木繁展 英国画家の作品も 石橋美術館 一年がかりで企画
699	西日本	1983年02月26日	夕 青木展'83	野見山暁治	愛と放浪の軌跡 青木繁展から (4) 《大穴牟知命》 飛び散るエスプリ
700	西日本	1983年02月28日	夕 青木展'83	西島伊三雄	愛と放浪の軌跡 青木繁展から (5) 《温泉》 強さとロマンと
701	西日本	1983年03月02日	1983-2	杉本秀子	〈石橋美術館だより〉 青木繁《天平時代》 印象的な朱色の線
702	フクニチ	1983年03月05日	1983-2		あすから久留米で青木繁展
703	朝日	1983年03月06日	青木展'83		西欧芸術の影響を探る 英絵画など80余点 久留米で青木繁展
704	西日本	1983年03月06日	青木展'83		初日から愛好者続々 “感動でいっぱい” 情熱が伝わるようだ
705	西日本	1983年03月06日	青木展'83	ピアノナイト(談) 竹内正昭記者	〈ちくご対談〉 “名誉ある使節になった” 英国画家の影響明白 青木の作品 見事な色彩感覚や構図
706	毎日	1983年03月06日	青木展'83		影響しあった英国作品も“青木繁展”開く 生誕百年を記念、異才を浮き彫り
707	読売	1983年03月07日	1983-2		青木繁らの名画に酔う 石橋美術館
708	西日本	1983年03月09日	1983-2	杉本秀子	〈石橋美術館だより〉 青木繁《温泉》 佐賀時代の代表作
709	西日本	1983年03月09日	夕 青木展'83	橋富博喜	〈文化〉 青木繁とイギリス 特異な時代 「明治浪漫主義」
710	フクニチ	1983年03月12日	青木展'83		〈プロムナード〉 青木繁展で記念講演 〈告示〉
711	読売	1983年03月12日	青木展'83		〈学ぶ〉 美術講演会 = 19日午後2-4時、久留米市の石橋文化会館小ホール。…
712	読売	1983年03月14日	夕 青木展'83	橋富博喜	青木繁～明治浪漫主義とイギリス ラファエル前派の影響濃く
713	西日本	1983年03月16日	1983-2	杉本秀子	〈石橋美術館だより〉 青木繁－明治浪漫主義とイギリス展 展示作品より ロセッティ《ベアトリーチェの挨拶》
714	西日本	1983年03月16日	青木展'83	松本茂	〈随想〉 ふりかえった少女
715	毎日	1983年03月17日	夕 青木展'83	副島三喜男	青木繁芸術への一視点 ラファエル前派の影響を軸に
716	西日本	1983年03月18日	青木展'83		青木繁の世界に新たな解釈 甘美な表現 イギリスから ラファエル前派の影響濃く
717	朝日	1983年03月19日	夕 青木展'83		〈点描〉 比較展示で関連性明らかに 『青木繁＝明治浪漫主義とイギリス』展

718	西日本	1983年03月20日		青木展'83	丸山豊	〈ふぁみりー〉 西日本文学碑の旅 けしけし山 青木繁 望郷の心しので
719	西日本	1983年03月22日	夕	青木展'83	嘉門安雄	〈文化〉 青木繁とラファエル前派 「青木繁展」に寄せて
720	西日本	1983年03月23日		1983-2	杉本秀子	〈石橋美術館だより〉 青木繁－明治浪漫主義とイギリス展 展示作品より パーン・ジョーンズ《マーリンとニムエ》〈愛の歌〉
721	西日本	1983年03月30日		青木展'83	杉本秀子	〈石橋美術館だより〉 青木繁－明治浪漫主義とイギリス展 展示作品より ワッツ《カインの罪の告発》
722	読売	1983年04月20日		1983-2		青木繁の名画再び… 大川の清力美術館4年ぶり開館
723	フクニチ	1983年04月30日		1983-2		帰って来た“町の美術館” 清力美術館 4年ぶり再開 「漁夫晩帰」など名画34点 きょうから公開
724	西日本	1983年05月02日		1983-3		清力美術館 4年ぶりに復活 絵画ファンにこたえる
725	西日本	1983年05月08日		1983-3	中村善勇(談) 吉村信二記者	〈ちくご対談〉 大川の文化向上に尽力 里子が戻った喜び 青木、坂本らの名作も
726	朝日	1983年05月23日	夕	1983-3		青木繁の絶筆寄託
727	フクニチ	1983年07月23日		1983-7		近代日本美術史研究に貴重 「美術新報」全巻復刻
728	読売	1983年08月31日	夕	1983-4	日野耕之祐	坂本繁二郎と青木繁 回想・九州出身の洋画家
729	朝日	1983年10月08日	夕	1983-6		佐賀県立美術館がオープン
730	西日本	1983年10月08日	夕	1983-6		多彩な企画メジロ押し 佐賀県立美術館オープン
731	読売	1983年11月30日	夕	1983-7		〈手帳〉 国宝・重文含め120点
732	西日本	1984年03月25日		1984-3	橋本嗣史	回想 けしけし祭
733	毎日	1984年03月26日		1984-3		カッポ酒注ぎ、献花 青木繁しのび「けしけし祭り」久留米
734	毎日	1984年05月27日		1984-5		〈いってみませんか〉 清力美術館 筑後の大画家群像が…
735	読売	1984年06月06日		1984-6		青木繁 藤島武二 岸田劉生 黒田清輝 日本洋画界の巨匠 スラリ 久留米市制95周年美術展 石橋美術館に106点
736	朝日	1984年06月21日		1984-6		頑張る民間の清力美術館 再開1年で来館8,000人 青木・坂本・東郷らの絵鑑賞
737	フクニチ	1984年08月27日		1984-8		日本洋画の三代(明治, 大正, 昭和)展 来月22日から石橋美術館
738	読売	1984年09月05日		1984-9		青木繁 坂本繁二郎 古賀春江 郷土出身画家の作品一堂に 45人の106点を展示 22日から「日本洋画の三代」 石橋美術館
739	朝日	1984年09月21日		1984-9		あすから日本洋画三代展 青木繁など45人の作品106点 久留米・石橋美術館
740	西日本	1984年09月23日		1984-9		巨匠の作品ずらり 「日本洋画の三代」が開幕
741	毎日	1984年09月23日		1984-9		「日本洋画三代」展ひらく 石橋美術館で45人の106点
742	読売	1984年09月23日		1984-9		「日本洋画三代展」始まる 久留米・石橋美術館 美術ファンでにぎわう

743	フクニチ	1984年09月24日		1984-9		明治, 大正, 昭和の力作ズラリ 久留米で「洋画三代展」
744	西日本	1984年09月28日		1984-9		日本洋画の三代－明治・大正・昭和－展 石橋コレクション一堂に 来月28日まで 石橋美術館
745	朝日	1984年09月29日	夕	1984-9	源	〈美術〉 欧州の摂取と日本化反復 久留米市で洋画の三代展
746	毎日	1984年10月14日		1984-10		〈いってみませんか〉 近代日本洋画の三代展 石橋美術館 因縁の絵, 隣り合わせ
747	西日本	1985年03月23日		1985-3		天才画家・青木繁しのぶ 「けしけし」の宴 あす久留米の兜山で カッポ酒くみかわし…
748	朝日	1985年03月25日		1985-3		好天の兜山に300人 青木繁しのびけしけし祭
749	毎日	1985年03月25日		1985-3		「けしけし祭り」開く カッポ酒で青木繁しのぶ
750	読売	1985年03月25日		1985-3		青木繁しのびけしけし祭り
751	朝日	1985年03月29日	夕	1985-3		〈点描〉 れい明期の日本洋画 “本家”欧州で初展示
752	日本経済	1985年04月01日		1985-4		〈文化往来〉 伊, 独で日本近代洋画展
753	西日本	1985年04月04日	夕	1985-4	副島三喜男	〈寸言〉 遺書
754	西日本	1985年04月10日		1985-4		青木繁のデッサン作品展 「妙義写生帳」など31点 27日から石橋文化センター
755	フクニチ	1985年04月26日		1985-4		あすから「青木繁特別展」 久留米の石橋美術館
756	西日本	1985年04月28日		1985-4		青木繁デッサン展始まる 久留米市石橋美術館
757	読売	1985年04月28日		1985-4		石橋美術館 青木繁デッサン28点特別展示
758	フクニチ	1985年04月29日		1985-4		妙義山スケッチ行の作品も 久留米で「青木繁・デッサン展」
759	西日本	1985年04月30日	夕	1985-4		〈展覧会〉 20－27歳のデッサン28点 青木繁・デッサン(写生帖)特別展示
760	毎日	1985年05月05日		1985-5		〈ミニニュース〉 にぎやかに青木繁展
761	西日本	1986年02月12日	夕	1986-2		〈祭ごよみ〉 けしけし祭り
762	西日本	1986年03月15日	夕	1986-3		青木繁の油彩を版画に
763	読売	1986年03月24日		1986-3		かつぼ酒で青木繁しのぶ
764	読売	1986年04月09日	夕	1986-4		〈美術〉 誘い込まれる味に魅力 洋画小品展
765	西日本	1986年06月23日		1986-6		〈社説〉 清力美術館の閉館を惜しむ
766	朝日	1986年06月24日	夕	1986-6		青木繁・繁二郎の作品展示 清力美術館あす閉館 清酒離れで維持困難に
767	フクニチ	1986年08月30日		1986-8	酒井忠康	近代洋画再考 (17) 第3部 内なる西欧 (1) 官能的幻想空間に遊ぶ 青木繁「天平時代」
768	日本経済	1986年09月17日		1986-9	酒井忠康	近代日本洋画の自画像十選 (4) 青木繁 自画像
769	朝日	1986年12月13日	夕	1986-12	林	〈土曜サロン〉 尊敬する画家二人を追った竹藤寛さん 芸術への根元的執念を見る
770	毎日	1987年01月13日	夕	1987-1	河北倫明	〈文化〉 「青木繁・坂本繁二郎とその友」を読んで 共通の人・梅野満雄を加えた「三友の輪」の陰影とドラマ
771	朝日	1987年01月27日		1987-1		青木繁・坂本繁二郎とその友 竹藤寛著 〈書評〉

772	西日本	1987年02月10日		1987-2		3億円で名画購入 青木繁とシャガール 福岡市美術館
773	フクニチ	1987年02月19日		1987-2		福岡市美術館 3億円の買い物 4月上旬にも登場 シャガールの空飛ぶアトラージュ 青木繁の秋声
774	読売	1987年02月19日		1987-2		名画しめて3億円購入 福岡市美術館 「シャガール」「青木繁」
775	読売	1987年03月03日	夕	1987-3	健	〈美術〉 青木繁に影響 神秘的な60点展示 久留米・石橋美術館 「バーン・ジョーンズと後期ラファエル前派」展
776	朝日	1987年03月11日	夕	1987-3	源	〈美術〉 青木繁らへ影響 「バーン・ジョーンズと後期ラファエル前派展」 石橋美術館
777	毎日	1987年03月12日	夕	1987-3	三田晴夫	〈美術〉 のぞく「世紀末」の一面 バーン＝ジョーンズと後期ラファエル前派展
778	西日本	1987年03月21日		1987-3		画家青木繁に歌集から迫る 黒木高の野田教諭 絵と同じ抒情性を指摘 結核の発病時期にも仮説
779	フクニチ	1987年03月31日		1987-3		世界的な名画2点搬入 福岡市美術館 きょうから公開 シャガールの「空飛ぶアトラージュ」1億6000万円 青木繁の「秋声」1億4000万円
780	読売	1987年04月15日	夕	1987-4	健	物故12作家の本音が見える 春の小品展
781	西日本	1987年06月28日		1987-6	杉本秀子	評価築いた友人たち 青木繁・坂本繁二郎とその友 竹藤寛著 〈書評〉
782	毎日	1987年07月11日	夕	1987-7		流行ギフト券(御酒切手)明治時代にも 青木繁がコピー、デザイン 酒造会社に原画 福岡
783	西日本	1987年09月03日		1987-9	康	〈お達者インタビュー〉 色彩の微妙な変化を味わう 青木繁「秋聲」のモデル 70歳で筆握る 水彩画を楽しむ 三上イトヨさん
784	西日本	1988年01月05日	夕	1988-1	菊畑茂久馬	絶筆いのちの炎 郷土の画家たちの生涯 (2) 青木繁「朝日」 栄光から破滅へ、疾走する天才 28年の生きらめく4年
785	西日本	1988年03月19日	夕	1988-3		筑前、筑後の画風比較 県立美術館「イメージの風土学」展
786	毎日	1988年03月21日		1988-3		青木画伯をしのびけしけし祭 300人が出席
787	西日本	1988年03月22日	夕	1988-3	後藤耕二	イメージの風土学 美に見る筑前と筑後 (1) 表現理念 装飾性と象徴性 児島善三郎《箱根》 青木繁《輪転》
788	朝日	1988年04月01日	夕	1988-4	源	〈美術〉 自然の及ぼす影響を探る 「イメージの風土学」展 福岡県立美術館
789	西日本	1988年04月05日	夕	1988-4	後藤耕二	〈美術〉 風土と美術 すべてに見せる「砂」の筑前 奥深い象徴性「泥」の筑後 「イメージの風土学」展に寄せて
790	西日本	1988年08月03日	夕	1988-8		青木繁「秋聲」のモデル 三上さん死去、102歳
791	朝日	1988年08月04日		1988-8		青木繁「秋聲」のモデル 三上イトヨさん死去
792	日本経済	1988年08月04日		1988-8		青木繁「秋声」モデル 三上イトヨさん死去
793	フクニチ	1988年08月04日		1988-8		青木繁「秋声」のモデル 三上イトヨさん死去
794	朝日	1988年09月02日		1988-9		孤独の風景80年ぶりに光 久留米 青木繁の水彩画発見

795	朝日	1988年09月02日	夕	1988-9		天国の繁さんも喜んでくれる 水彩画保存竹内さん 反響の大きさにびっくり
796	西日本	1988年09月02日	夕	1988-9		青木繁の水彩画見つかる 久留米の親類宅 放浪生活直前の作 借金のお礼だった 竹内さん
797	毎日	1988年09月02日	夕	1988-9		青木繁の水彩画見つかる 故郷・久留米の親類宅で
798	読売	1988年09月02日		1988-9		青木繁の未発表作あった いとこの未亡人が秘蔵
799	読売	1988年09月02日	夕	1988-9		青木作品77年の眠り いとこ訪ね門司で描く?
800	フクニチ	1988年09月03日		1988-9		青木繁の水彩画見つかる 久留米市の親類宅で 放浪生活前に描く
801	朝日	1988年09月06日		1988-9		青木繁の水彩画 13年前、美術雑誌に紹介 所有者の知らぬ間
802	西日本	1988年09月06日		1988-9		13年前に発表されていた 青木繁作の水彩画
803	毎日	1988年09月06日		1988-9		久留米で発見、青木繁の未公開作品 美術雑誌に紹介されてた
804	読売	1988年09月06日		1988-9		青木繁の“未発表”水彩画 13年前に雑誌で紹介
805	朝日	1988年09月08日		1988-9		きょうから八女で公開 青木繁水彩画 坂本繁二郎と“同居”
806	フクニチ	1988年09月08日		1988-9		青木繁の水彩画展示 きょうから市立図書館で 八女
807	毎日	1988年09月08日		1988-9		きょうから一般公開 八女市で 青木繁の「小浦夕景」
808	読売	1988年09月08日		1988-9		青木繁の“未発表”水彩画 八女できょう公開
809	朝日	1988年09月09日		1988-9		美術ファンら感嘆の声 青木繁の水彩画「小浦夕景」を初公開 八女市の坂本繁二郎資料室 どっと入場者立ちつくす人
810	読売	1988年09月09日		1988-9		青木ファンどっと 八女 水彩画公開始まる
811	西日本	1988年09月10日		1988-9		青木繁の「小浦夕景」を初公開 八女図書館
812	フクニチ	1988年09月10日		1988-9	渡辺洋	青木繁作「小浦夕景」の初公開始末記
813	フクニチ	1988年09月11日		1988-9		〈サンデー・ストリート〉 青木繁の芸術の源流は八女にあり 水彩画“発見”騒動で新説にも光があたった 母方の里と深い縁 歌碑建立の声も広がる
814	西日本	1988年09月19日	夕	1988-9	渡辺洋	〈文化〉 青木繁と母います国 本当の姿を伝記に
815	毎日	1988年09月26日		1988-9		底鳴る潮 青木繁の生涯 渡辺洋著 優しい本性を見出す 〈書評〉
816	朝日	1988年09月30日		1988-9		好評で一カ月延長 八女市は二十九日、市立図書館内の坂本繁二郎資料室で一般公開している青木繁作とみられる水彩画「小浦夕景(おうらゆうけい)」の展示を…
817	西日本	1988年09月30日		1988-9		来月末まで公開延長 青木繁の「小浦夕景」
818	朝日	1988年10月01日	夕	1988-10-1		水彩画“新発見”のきっかけ 青木繁の伝記小説 神戸大教授が出版 〈書評〉
819	西日本	1988年10月03日	夕	1988-10-1	塩野実	〈文化〉 西日本文学展望 渡辺洋「底鳴る潮」 青木繁の隠れた人間性 現代の青春と大きな落差
820	読売	1988年10月13日	夕	1988-10-2	持	〈美術〉 OBら100年の足跡 東京芸大所蔵名作展

821	朝日	1988年10月14日	夕	1988-10-2	源	〈美術〉 目をひく巨匠たちの卒業制作 東京芸大所蔵名作展 久留米・石橋美術館 共通する大胆さと野心的表現
822	西日本	1988年10月25日	夕	1988-10-2	吉田	〈展覧会〉 東京芸術大学所蔵名品展 近代日本美術の流れ概観
823	フクニチ	1988年11月09日		1988-11		青木繁の小浦夕景月末まで公開延長 八女市立図書館
824	毎日	1989年04月27日	夕	1989-4		FBSがコレクションを初公開 近代絵画を幅広く
825	西日本	1989年05月02日	夕	1989-5		〈展覧会〉 近代絵画の流れ展 多彩なコレクション
826	西日本	1989年05月22日		1989-5	石牟礼道子	鬼気せる阿修羅の文 絶筆 いのちの炎 菊畑茂久馬著 〈書評〉
827	読売	1989年06月20日		1989-6		青木繁“隠れた油絵”発見 耶馬溪を板の両面に 晩年の放浪時に描く
828	西日本	1989年06月21日	夕	1989-6		青木繁の未発表作発見 東京の美術研究家が保存板の表裏に耶馬溪 晩年、放浪期の油絵2点
829	毎日	1989年06月21日		1989-6		青木繁の油絵2点新発見 板の両面に耶馬溪風景 東京で友人の長男保存 晩年の放浪時代の作
830	毎日	1989年06月22日	夕	1989-6		〈新刊〉 『絶筆-いのちの炎』菊畑茂久馬著 〈書評〉
831	フクニチ	1989年06月24日		1989-6		「青木繁の遺書」などの美術講演会 〈講演会案内〉
832	朝日	1989年07月14日	夕	1989-7	源	〈美術〉 ヴィクトリア朝の絵画展 山口県立美術館 古き良き時代に救い求める
833	読売	1989年09月15日		1989-9		〈プロムナード〉 ぶんか財 青木繁「海の幸」
834	朝日	1989年10月19日		1989-10		〈むつごろう通信〉 明善高の110周年で絵画展
835	朝日	1989年10月31日		1989-10		私財10億円かけ唐津に美術館 兵庫の元会社員 亡父の故郷へ建設
836	西日本	1990年03月13日	夕	1990-3	谷口治達	もう一人の画家・平嶋信 青木・坂本の若き日の友 上 穏和静寂の風景画 青木繁に学費援助も
837	西日本	1990年03月14日	夕	1990-3	谷口治達	もう一人の画家・平嶋信 青木・坂本の若き日の友 下 生涯一度の個展後死去 脚光を浴びることもなく
838	朝日	1990年03月26日		1990-3		青木作品さらに充実 石橋美術館 「狂女」加わる 絶頂期の名作
839	西日本	1990年03月26日		1990-3		偉業たたえ「けしけし祭」 三百人が青木繁しのぶ 久留米市
840	朝日	1990年11月09日		1990-11		久留米市民図書館に郷土の文学資料2千400冊寄託 久留米連合文化会 高島宇朗の詩集「せせらき集」 「眼花集」も
841	西日本	1990年11月26日	夕	1990-11		父の古里に鎮魂の館を 佐賀県初の私設美術館 兵庫県の河村さん あす唐津市にオープン
842	西日本	1990年12月20日		1990-12		「永遠の女性」テーマに 来月6日からロセッティ展 石橋美術館 青木繁の作品にも影響